

インタビュー  
コーナー

診療側、保険者側が十分  
納得する審査をしたいと思  
います。



沖縄県社会保険診療報酬請求書審査委員会審査委員長  
屋良 勲 先生

P R O F I L E

昭和42年 鹿児島大学医学部卒  
昭和43年 鹿児島大学医学部第2外科入局  
昭和52年 宮崎県立宮崎病院心臓血管外科医長  
昭和56年 鹿児島大学医学部第2外科 助手講師  
昭和57年 琉球大学第2外科 講師  
昭和60年 沖縄赤十字病院外科部長  
平成元年 沖縄赤十字病院 副院長  
平成19年4月沖縄県赤十字血液センター所長

**Q1. 支払基金の審査委員長にお伺い致します。  
審査委員長としての抱負をお願いします。**

沖縄県社会保険診療報酬支払基金は全国規模の健保組合、共済組合などの診療報酬請求書に対して、公正、中立を基本として審査し、迅速な支払いを行うことであります。従って、一次審査委員会での審査を診療担当規則および諸規定に照らし厳重に行い、診療側、保険者側が十分納得する審査をしたいと思っております。

**Q2. これまで長年、審査委員をなされてこられました。現在の問題点など多くあると思いますが、特に問題点を挙げていただきたいのですが。**

平成7年4月に審査委員を委嘱され、平成9年6月の専任を経て、平成17年6月、審査委員長になりました。最近の先端医療技術の目覚ましい進歩、新薬の開発、新医療器材の進出、従来の薬剤の適応症の制限、そして最も面倒な2年ごとの診療報酬の改定など、絶えず審査基準を適正なものに修正しなければなりません。その点で審査委員も努力しています。全国審査委員長会議、支部間差異解消検討委員会で、実例をあげて討論しています。

**Q3. 審査をとおして沖縄県における特徴とかがございますか。**

特に沖縄県のみの特徴はありません。不明の点は全国から本部に登録されているイントラネットで確認したり、直接、本部または厚労省に問い合わせ解決しています。

**Q4. 医療者側、保険者側からの問題点、要望はどのようなものがありますか。**

審査は、県医師会、支払基金、国保連合会で合議された審査基準に基づいて厳密に行われますが、両審査会に少しばかりの審査のずれがあることは承知しています。医療者側からは、うっかりミスで診療内容の50%以上が査定されるようなケースでは、再審査して欲しいので、返戻するようにしています。保険者側からの要望（再審査の形でレセの提出となりますが）は、

検査、投薬の過剰、薬事法で決められた薬剤の上限を超えての投薬、病名もれ、療養担当規則の違反等が多く見られる事への是正です。

審査は原則書類審査ですが、名審査委員は名探偵コナンのように、レセの裏側を見透かすようです。

**Q5. 医師会の先生方への要望をお願いします。**

よくレセは金券のようなものだといわれます。診療の明細書ですので、患者に渡すこともあります。診断のための検査、治療のための投薬、注射があります。傷病名の記載漏れ、偶発の合併症に対する適切なコメントがないと不適切なレセプトとなってしまいますので、提出前に是非点検をお願い致します。また、審査委員、保険者に分かり易いようなコメントの添付

もお願いします。不明な点は支払基金にお電話をください。

**Q6. 日常の診療に、審査にご多忙と思いますが、気分転換の方法とか、趣味は？**

二水会、三水会、以前は一金会など医師会の仲間とtalk and drinking、その後カラオケ大会。へたなゴルフとテニス。休みに似たりの碁、麻雀等です。

**Q7. 座右の銘がございましたらお願いします。**

時々心頭に浮かぶのは、「人間いたる所青山あり」。実にいたる所で諸先輩に引き上げて貰いました。万謝申し上げます。

インタビューアー：広報委員 久場 陸夫

